

3. その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項

1) 浸水被害軽減対策の取り組み

かつての潟湖（浅茂川湖）を埋め立てて市街地が形成されている下流域の網野町市街地は、内水被害が生じやすい地形条件にある。そこで、福田川、新庄川の改修については、京丹後市が実施する内水対策とも連携を図りながら段階的に治水対策を進め、効率的かつ効果的な整備が図られるよう努める。

また、平成16年10月台風23号の豪雨による被害を踏まえ、整備中又は整備後も迅速な水防活動や円滑な避難を確保するため、浸水想定区域図を作成するとともに、雨量、水位等河川情報の提供など防災関係情報の充実共有化を進め、被害の防止、軽減に努める。

なお、開発行為に伴う防災調整池の設置指導については、関係機関と連携し流出抑制に努める。

2) 地域住民とともに川をつくる

福田川、新庄川の整備に当たっては、地域の特性や住民のニーズを反映させた河川整備を目指し、様々な知識、情報を広く提供するとともに、整備の各段階において、住民意見を反映した川づくりを進める。

3) 福田川水系の健全な水環境に向けての取り組み

福田川、新庄川の水量、水質の維持については、源流から河口に至るまでの水系全体の問題としてとらえ、啓発活動など流域住民や関係機関とより一層連携を図る。

また、水源である森林について、水源涵養機能が十分保たれるよう、森林の管理、保全について関係機関等と連携を図っていくものとする。